

内灘町



猿払村

内灘町とのつながり

内灘町と猿払村のつながりは、明治25年頃にさかのぼります。

さらなる漁場を求めて北海道の地を訪れた内灘の漁民が、猿払村でホタテの貝場を開拓し、八尺網（はっしゃくあみ）漁法を広めたことで、国内有数の漁獲量を誇る現在の猿払村ホタテ漁の基礎を築きました。

こうして、ホタテ漁でゆかりのある内灘町との“縁”を大切にし、産業・スポーツ・教育・文化などで交流し、両町村の発展のため、平成27年10月15日に友好都市の提携が結ばれました。

友好都市青少年交流事業

8月4日、友好都市「内灘町」の小学校5年生12名と、猿払村の小学校5・6年生12名が、猿払村内で交流事業を行い、親睦を深めました。

この交流事業は、今回が初の試みで、参加者は、それぞれの学校から有志で集まった小学生です。子どもたちの交流はもちろん、猿払村発祥のスポーツである「サークルボール」大会を行ったり、特産品のホタテを堪能したり、直線道路で有名なエサヌカ線を訪れたりと、猿払村を満喫しました。半日という短い時間での交流でしたが、最後のお別れの時間では、「また会おうね」と声をかける姿も見られました。



比べてみよう！猿払村と内灘町

猿払村		内灘町	
面積	人口	児童生徒数	気温
590km ²	2,760人	小学生 162人	最高 31.8度
		中学生 78人	最低 -18.2度
20.33km ²	26,626人	小学生 1,456人	最高 36.9度
		中学生 741人	最低 -4.3度

歓迎セレモニー

アイスブレイク

サークルボール大会

おやつタイム

記念撮影（役場庁舎前・エサヌカ線）

夕食会

ホタテ釣り：貝焼き＆刺身、流しそうめん、サクラマスのちゃんちゃん焼き、ヨーヨー・おもちゃすくい、型抜き

花火

記念品交換

交流スケジュール

写真の解説

- 1_歓迎セレモニー、村長より歓迎のあいさつ
- 2_アイスブレイク、じゃんけん／3_アイスブレイク、声に出さずにジェスチャーでコミュニケーション／4_サークルボール大会、初めての競技に白熱／5_おやつタイム、打ち解けて談笑する子どもたち／6_記念撮影、エサヌカ線にドローンを飛ばして上空から撮影／7_ホタテ釣り、苦戦しながらもなんとか成功／8_流しそうめん、そうめんの他にもぶどうやチーズなどが流れで大盛り上がり／9_花火、手持ち花火やナイアガラ花火を楽しむ／10_夕食会、釣ったホタテをすぐにさばいていただきます／11_おもちゃすくい、狙うは大物／12_ヨーヨー釣り、釣るヨーヨーを吟味／13_記念撮影、役場前